



北海道 稚内
Hokkaido Wakkanai

これは、普通の旅とはちょっとちがう、
新しい自分と世界に出会う旅。

旅の途中で誰かのお手伝いをしたり、
その土地の課題と向き合ったり。
自由時間は、仲間と自然と、思いっきり遊んでみる。

課題を知ったから、その土地をもっと好きになる。
出会ったばかりの仲間だから、素直に話せることがある。

思わぬトラブルだって、
きっと忘れられない思い出になるから。

キミも、日本のどこかの仲間と一緒に
ちょっと世界を変えちゃう冒険にでかけませんか？



北海道 稚内

Hokkaido Wakkanai

日本最北端で、
海と風と平和を
願う旅.

日本の最北にある港町、稚内では毎年「日本最北端わっかない平和マラソン」が開催されます。

宗谷岬の記念碑や、宗谷丘陵、北防波堤ドームなどの、さまざまな名所を巡りつつ対岸には宗谷海峡を隔てサハリンを臨むことができます。

平和を願い、海風を浴びながら、稚内を巡るこの大会のスタッフとして、10人の学生が参加しました。



稚内レポート

2022.09.02-09.05

旅する
ボランティア





稚内の旅に10人の学生が参加した。最年少のメンバーは、沖縄から。日本最北端の地に、まだ少し緊張した様子で足を踏み入れた。

サプライズで、稚内市長のお出迎え。「稚内を好きになって帰ってください。」と激励の言葉をいただいた。





稚内公園に建つ開基百年記念塔。展望台では70mの高さから北海道の地を見渡す。天気に恵まれ、海を挟んだ先にはサハリンの島影も見ることができた。





資料館では北海道・樺太の文化や、ロシアとの交流の歴史を見ることができた。この平和が当たり前じゃないことを考えさせられる。





午後はカーリング体験。北海道ならではのスポーツに最初は苦戦するメンバーだったが、お互いに協力することで、一気に距離を縮めることができた。

はじめまして同士でも、一緒に汗を流し、サポートすることで生まれる連帯感。言葉は少なくともスポーツは、人をつなげてくれる。



天気が良く、予定にはなかった展望台へ。稚内の広大な海の中に浮かぶ夕陽に「人生でいちばんの夕陽」と感動するメンバーも。勇気をだして参加をきめたあの瞬間が、ふと蘇る空だった。



宗谷岬平和公園には「日本最北端の地の碑」のほか、樺太を発見した探検家「間宮林蔵の立像」や大韓航空機撃墜事件をしのぶ「祈りの塔」など様々なモニュメントをめぐることができる。公園内には鹿がのびのびと過ごしていた。





大高原に回る風車を横目に訪れたのは、ホタテの貝殻でできた「白い道」。緑の高原の中に引かれた一本の白い線は、青空へとつながっているよう。次の予定が迫り、駆け足で白い道を駆け抜ける姿は、ちょっと青春映画みたいだった。







マラソン前日は、会場周辺をゴミ拾い。ペアに分かれたことで、お互いのことをより深く知れる時間に。





夜は公園で花火。初めて手持ち花火を経験するメンバーもいた。輪になって、線香花火に願いをこめる。





a.m. 4:00 早起きをした仲間で、少し肌寒くなってきた稚内から、朝日を望む。

ついに、マラソン大会当日。
スタート地点に向かうランナーを
全員でお見送り。手を振り返して
くれると嬉しい。





会場の設営ボランティア。

「わっかない平和マラソン」の旗を、ゴール付近の沿道にたてていく。

この日を待っていたように、旗が青空にヒラヒラと浮かぶ。







ランナーの熱い姿に、炎天下も忘れるくらい一杯応援する。ボランティアしているはずの自分達が、むしろたくさん力をもたらしていることに気づいた。





貴重なゴールを任された一同。普段できない体験を出来るのも醍醐味だ。
汗が滲んだゴールテープに、ランナー達の積み上げた努力を肌で感じる。

最終日はフリータイム。
早朝から観光に行く人も、
ギリギリまで休む人も。
稚内で思い思いの時間を過ごした。



稚内とメンバーのことを大好きになって帰った10人の学生。はじめてのマラソンボランティアでは、むしろ自分達が元気をもらい、頑張る人の素晴らしさや、人とのつながりを強く感じた。そしてなにより、朝日と一緒に見たり、たくさん話しかけてくれた仲間たち。稚内で出会ったすべての人とつくった、全部のうれしい瞬間が、明日からの宝物になる。



参加者の声

何か新しいことをして
みたいと思ったから

同年代の学生を
募集していたから

今回どうして参加したの？

ボランティアに
参加してみたかった

コロナで全然旅行にも
行けてなく...北海道に
も行ってみたかった！

ランナーがゴールテープを
きった時、すごく共感して
感動しました！

カーリング体験が
新鮮で楽しかった。

何が印象的だった？

カーリング体験。はやく上手く
なりたくて、みんなで練習をた
くさんしたのが良い思い出。

マラソン運営！先にゴール
したランナーが仲間のゴール
と一緒に喜んでるところに
つながりを感じた。

普段は行かないところで、普段は
やらないことをすることで、その
土地の素晴らしさを沢山知れる。

日常では、得られること
のなかった経験、さらには
は出会うことのなかった
仲間達という宝物を手に入
れられること。

これから参加する人に
伝えたいことは？

貴重な経験と
最高の思い出！

旅をすることでその土地
の良さを改めて気づける
し、一生自分の思い出と
して残るところも魅力的。

様々な人と関わり感動する場
面も。楽しく充実したボラン
ティア活動だった！

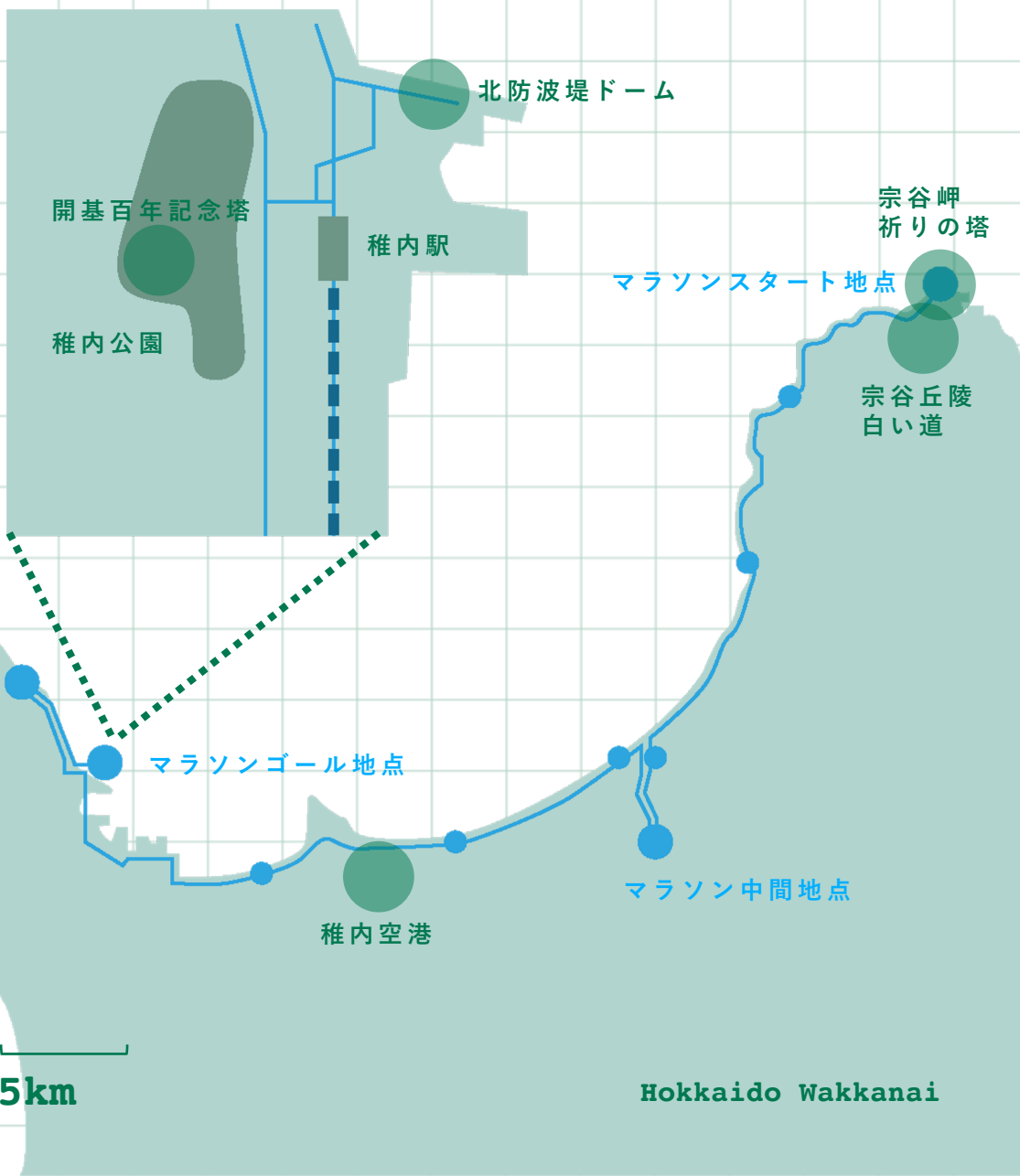
Map



マラソン大会コース



立ち寄りスポット



Program

Day 1	稚内空港到着
	稚内公園見学
	カーリング体験
Day2	宗谷岬観光
	宗谷丘陵、白い道観光
	ゴミ拾い活動
	ボランティア説明会
	自由時間
Day3	マラソン運営ボランティア
	自由時間
Day4	自由時間
	稚内空港出発



旅するボランティア

Report vol.1

北海道 稚内

Hokkaido Wakkanai

日本最北端で、海と風と平和を願う旅.

Photo by Rinako Kitahatake

